
議題① ニーズ調査

ニーズ調査の実施計画

- 基本計画の策定に先立って、施設の利用用途（県民利用向け又は興行利用向け等）の方向性や需要及び年間開催日数を推測することを目的に、主に屋内競技のスポーツ団体やコンサート等の興行イベントを行うプロモーターを対象にニーズ調査を実施します。

施設整備の方向性は利用用途によって異なる

県民利用／スポーツ利用

興行利用（コンサート）

■ 安価な施設使用料収入しか得ることができず、財政負担が増える。

■ プロスポーツ利用に対応するためには、VIPラウンジ機能や大型ビジョン等の導入が必要になる。

■ 音楽コンサート利用と併用する場合は、土間コンの上に都度ポータブルフロア（木製）を設置する必要がある。

■ 集客性が期待でき、施設使用料収入が増えるほか、地域の経済波及効果も期待できる

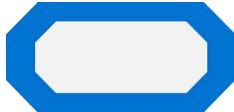
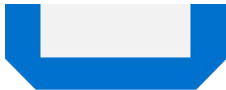
■ 見切り席が最小限となる客席形状の採用、吊り金具や音響設備等の導入が必要になる。

■ 複数の搬入出口の確保が必要になり、車両の荷重に耐えうる土間コンを整備する必要がある。

確認すべき事項		施設整備計画への反映内容	対象団体 全22団体（予定）	調査方法
スポーツ需要	競技面積	フロアサイズ、諸室、動線	スポーツ競技団（屋内競技） ・11団体 協会 ・3団体	アンケート形式による調査
	入場者数	観客席数（固定席）		
	大会や興行の開催時期及び頻度	床仕様		
イベント需要	コンサート	客席形状、床仕様、観客席数、設備機能・仕様	プロモーター ・全国1団体 ・四国1団体 地元メディア ・2団体	ヒアリング形式による調査
	MICE	設備機能・仕様	経済・観光団体 ・3団体	
	その他（eスポーツ）	設備機能・仕様	競技連盟 ・1団体	

参考 | 利用用途別のアリーナ類型とその特徴

- アリーナタイプは利用用途に応じて、形状や仕様が異なり、主要な利用用途以外を利用する場合の留意点があります。

アリーナタイプ	スポーツ利用型（総合体育館）	多目的利用型（アリーナ）	多目的利用型（新型アリーナ）
主要用途	アマチュアスポーツ、プロスポーツ	プロスポーツ、コンサート	プロスポーツ、コンサート
施設コンセプト	スポーツを「する」空間で競技者視点を重要視	スポーツ・イベントを「みる」空間来場者視点の体験を重要視	音楽イベントにおいて見切り席が最小限になるよう劇場のようにステージ位置を固定した施設形状
観客席形状 ■ 観客席 ■ アリーナフロア	□型観覧席 	□型観覧席 	U型／扇形観覧席 
床仕様	木製フローリング床	土間コンクリート （スポーツ利用時は木製ポータブルフロアを設置）	土間コンクリート （スポーツ利用時は木製ポータブルフロアを設置）
特殊設備	可動席（ロールバック等）、音響設備、照明設備	アリーナフロアへの搬入路、可動席（ロールバック等）、VIP諸室、飲食物販エリア、大型映像設備、音響設備、照明設備、昇降トラス、吊り金具	アリーナフロアへの搬入路、VIP諸室、飲食物販エリア、大型映像設備、音響設備、照明設備、昇降トラス、吊り金具
主要用途以外を利用する場合の留意点 （多目的対応することによる必要な措置）	- コンサート利用の場合は、床を養生し、ステージや映像音響設備を設置する必要がある。 - プロスポーツ利用の場合は、仮設のVIPスペースや映像音響設備を設置する必要がある。 - 災害時は、直接車両がアリーナに乗り入れすることが難しい。	- アマチュアスポーツ利用及びプロスポーツ利用の場合は、木製ポータブルフロアを設置する必要がある。 - キャパを維持してコンサート利用する場合は、センターステージを設置する必要がある。 - 災害時は、興行時の設営撤去用の搬入路を使って直接車両がアリーナに乗り入れできる。	- アマチュアスポーツ利用及びプロスポーツ利用の場合は、木製ポータブルフロアを設置する必要がある。 - 災害時は、興行時の設営撤去用の搬入路を使って直接車両がアリーナに乗り入れできる。
参考事例	 北里アリーナ富士（富士市）／施設サイトより	 あなづきアリーナ香川（香川県）／施設サイトより	 横浜BUNTAI（横浜市）／施設サイトより

スポーツ需要 | アンケート調査項目（案）

- スポーツ需要を把握するため、スポーツ競技団体を対象としたアンケート調査については、利用意向に加えて、新県民体育館の施設整備計画に反映するべく、競技面積や固定席数等を把握するための調査項目を設定しています。

討議事項

- スポーツ需要を把握するため、スポーツ競技団体を対象としたアンケート調査項目（案）について、討議いただきたい。

調査項目	設問内容
属性	基本情報（団体名、実施種目、所属人数、年齢構成、直近5ヶ年における所属人数の推移）
協会主催・共催の活動の実態	- 競技活動の頻度（月〇回、平日・土日祝、午前・午後・夜間） - 競技活動の場所（県の公共施設、県以外の公共施設、学校等教育機関の施設、民間施設、その他） - 定期的に主催・共催で開催している最も規模の大きい大会やイベントの概要（大会名、利用者の属性、利用施設、利用面数、参加競技者数、参加団体数、観客数、自動車での来場者数又は駐車台数）
新県民体育館への要望	- 利用時における理想的または適切な競技スペース（必要面数）（例：バスケットボールコート〇面分 等） - 導入を希望する諸室（待合・交流スペース、カフェ等の飲食店・売店、更衣室、シャワー室、託児スペース、トレーニングルーム、フィットネススタジオ、ランニングスペース、用器具庫、その他） - 導入を希望する機能（空調設備、Wi-Fi環境、簡便な予約システム、駐車場・駐輪場の拡張、更衣室設備の充足、その他）
利用意向	新県民体育館が整備された場合の利用意向及び年間の利用想定（大会・イベント利用回数／練習利用回数）
その他、自由意見	- 現在活動に利用している県の公共施設についての意見（自由記述） - 上記の設問以外に、新県民体育館に対しての意見（自由記述）

イベント需要 | ヒアリング調査項目（案）

- コンサート興行やMICE利用等のイベント需要を把握するため、プロモーター等を対象としたヒアリング調査については、利用意向に加えて、新県民体育館の施設整備計画に反映するべく、利用に必要な設備機能・仕様等を把握するための調査項目を設定しています。

討議事項

- イベント需要を把握するため、プロモーター等を対象としたヒアリング調査項目（案）について、討議いただきたい。

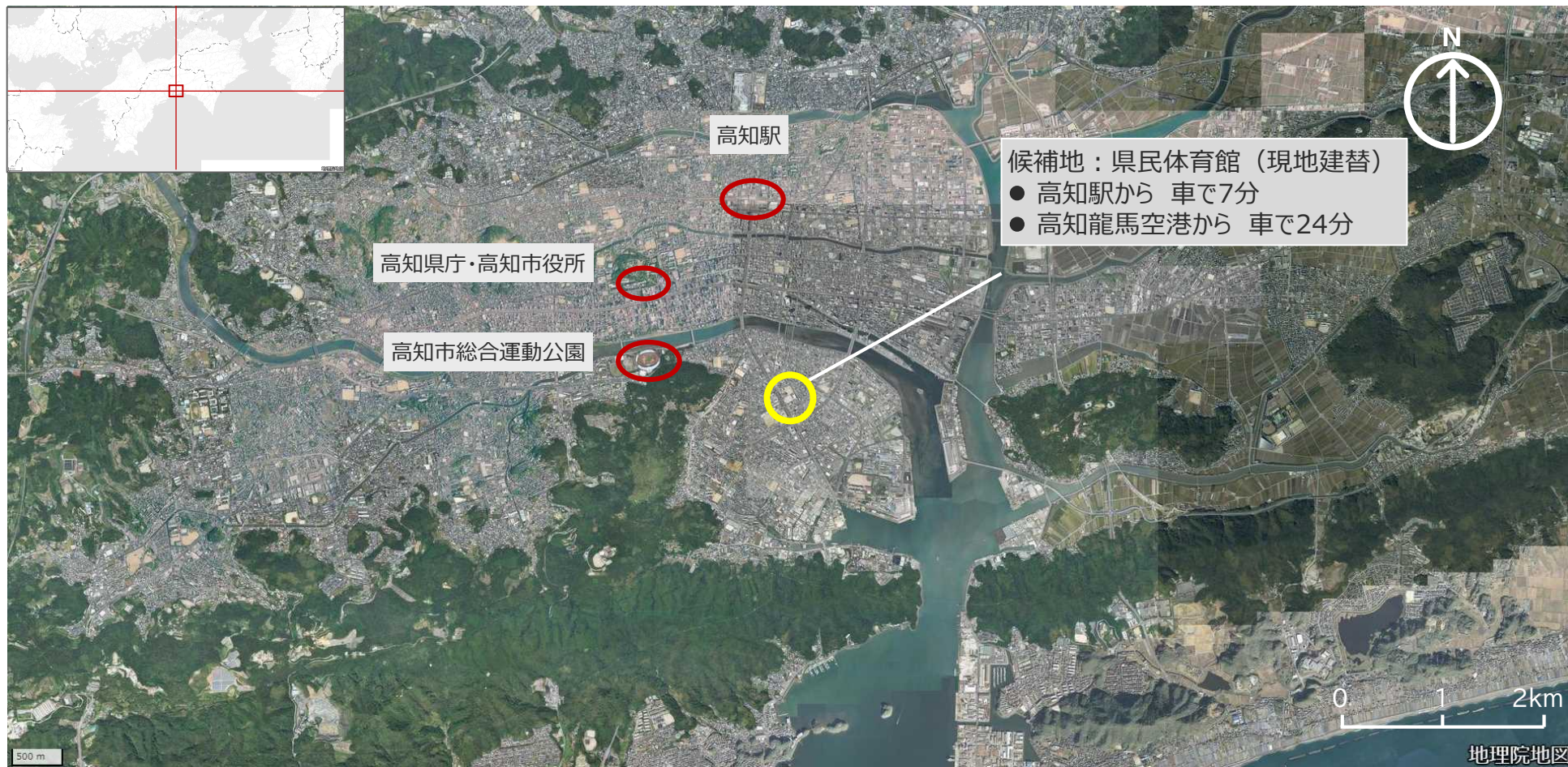
調査項目	設問内容
業界の動向	5,000人収容の国内施設におけるコンサート興行やMICE利用等のイベント需要状況 - 機材の輸送コストが比較的高くなる立地にある施設において、設営撤去の負担軽減になる設備を備え付けておくことの需要 - 一般的に設営撤去時に搬出入する大型トラックの車両総重量と台数（駐車台数）
活動の実態	高知県内のイベントの実施状況（イベント名、利用者の属性、利用施設、参加者数）
利用条件	- 利用時における理想的または適切なスペース（メインアリーナのフロア面積等） - 利用に必要な設備や諸室（Wi-Fi環境、車両の待避スペース、控え室、その他） - 県外からの誘客促進又は需要を獲得するための条件 - 施設運営体制における条件（予約時期・利用調整等）
利用意向	新県民体育館が整備された場合の利用意向及び年間の利用想定（イベント利用回数）
その他、自由意見	- 現在利用している県の公共施設（ふくし交流プラザ・県民文化ホール等）についての意見（自由記述） - 上記の設問以外に、新県民体育館に対しての意見（自由記述）

議題② 候補地調査

議題②候補地調査の進捗結果について

1 候補地の概要 | 現県民体育館での現地建替

- 候補地：高知県高知市棧橋通二丁目9－1



議題②候補地調査の進捗結果について（報告事項）

2 敷地概要 | 現況の土地利用



議題②候補地調査の進捗結果について（報告事項）

3 敷地概要 | 建築物の形態規制

計画地	高知県高知市棧橋通二丁目9-1	
用途地域	第一種住居地域	商業地域
地域地区	準防火地域、復興土地区画整理事業区域	
敷地面積	10,714㎡	
	7,047㎡(図上計測)	3,667㎡(図上計測)
指定容積率	200%	400%
	加重平均:268%	
指定建ぺい率	60%(角地、準防火地域の耐火建築物緩和適用 80%)	80%(角地、準防火地域の耐火建築物緩和適用100%)
	加重平均:66%(角地、準防火地域の耐火建築物緩和適用 86%)	
日影による高さ制限	地盤面から 4mの高さで ・敷地境界から5m超、10m以下の範囲 →5時間以上の日影を生じさせない ・敷地境界から10m超の範囲 →3時間以上の日影を生じさせない	規制なし
道路斜線制限	・摘要距離 :20m ・道路斜線勾配 :1.25	・摘要距離 :20m ・道路斜線勾配 :1.5
隣地斜線制限	・基準高さ :20m ・隣地斜線勾配 :1.5	・基準高さ :30m ・隣地斜線勾配 :2.5
建築可能な用途 (建築基準法第48条)	・住宅、共同住宅、寄宿舍、下宿 ・幼稚園、学校 ・病院 ・3000㎡以下の店舗、飲食店、ボーリング場、 スケート場、水泳場 ・特定行政庁が公益上やむを得ないと認めて許可 した場合	・劇場、映画館、観覧場 ・その他、工場以外のほぼすべての用途

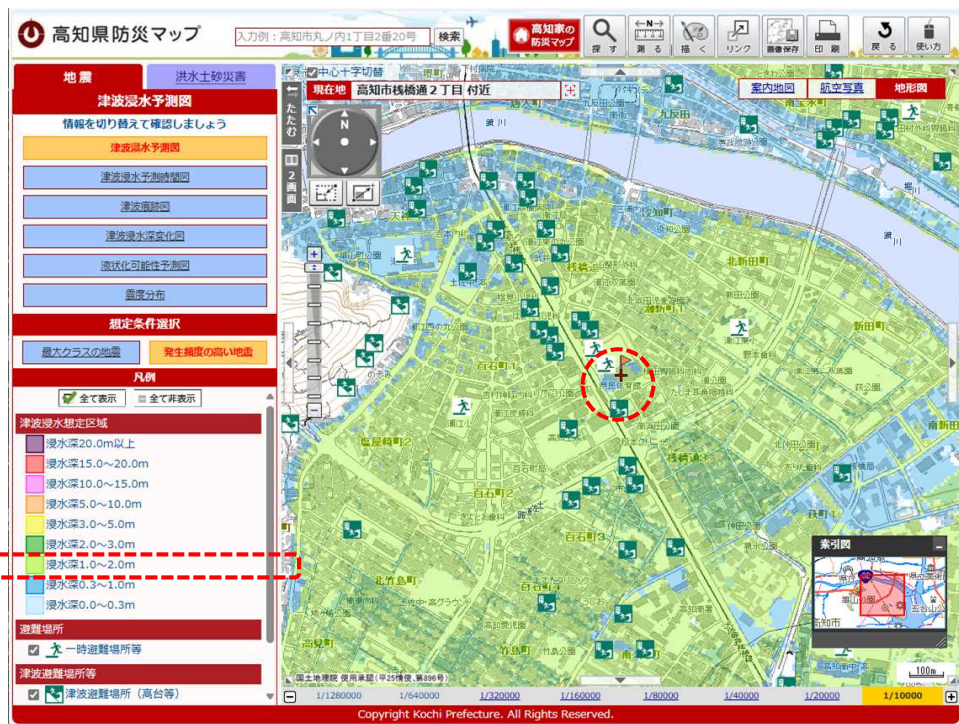
議題②候補地調査の進捗結果について（報告事項）

4 防災対応 | 計画地の状況

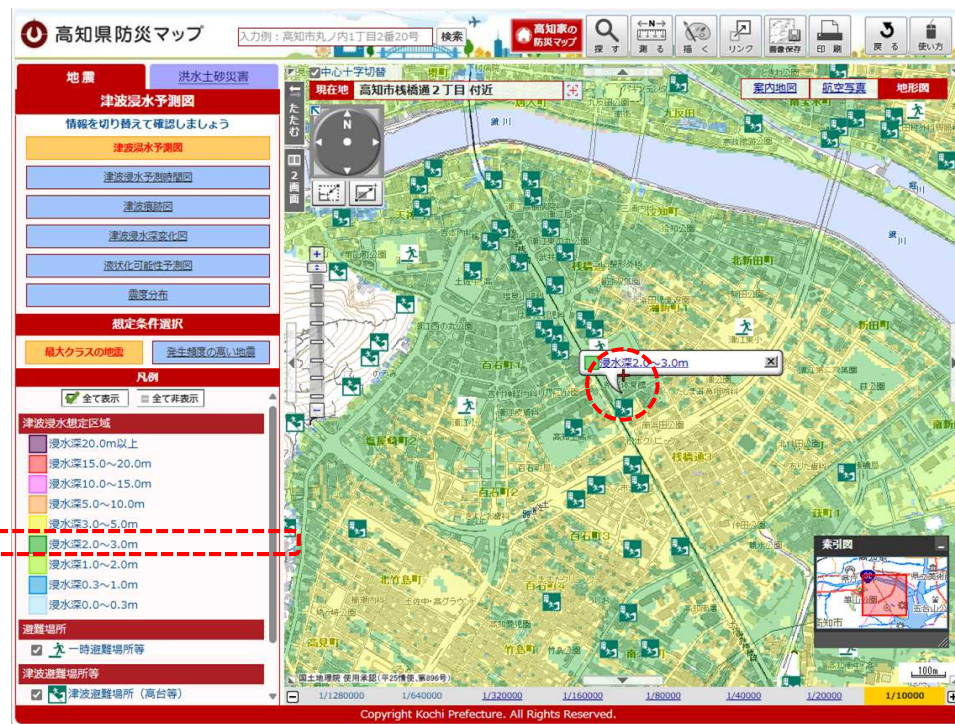
課題・方針

- 地域の状況、近隣の避難所の状況などに鑑み、新体育館においてはどのような防災機能を有するべきか検討が必要
- 新体育館が本来有する機能転用の範囲での収容者に対し備蓄などの対応をするのか、付加的な防災機能を持つべきか
- 県・市で協議の上、設計に反映すべき当施設での位置づけを検討する

L1（発生頻度の高い地震）クラスの発生で
1.0～2.0m津波浸水の予測



L2（南海トラフ地震）クラスの発生で
2.0～3.0m津波浸水の予測



津波浸水予測図

議題②候補地調査の進捗結果について（報告事項）

5 防災対応 | 施設整備での対応

課題・方針

- 計画地はL1クラスの地震においてもなお、津波浸水エリアのため、備蓄や避難所機能維持のために浸水しない高さへの保管、設置を計画に盛り込む

●近隣の緊急避難場所、避難所の指定状況

	指定緊急避難場所								指定避難所	
	洪水	崖崩れ 土石流など	高潮	地震	津波	大規模な 火事	内水氾濫	火山現象	指定一般 避難所	指定福祉 避難所
現県民体育館	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
アスパルこうち	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×
潮江市民図書館	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×
(株)四電工高知支店	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
高知工業高等学校	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×

●備蓄方針、備蓄計画

高知県備蓄方針(抜粋)	高知市備蓄計画(抜粋)
● 外部からの支援の開始が4日目以降となることを踏まえ、最低3日分は県内の物資により対応する。 ● 3日分の物資は、個人備蓄を原則とするが、家屋の流失等のやむを得ない事情により物資が不足する者に対しては、公的備蓄や流通備蓄による供給体制を整備する。 ● 3日間のうち、1日分は市町村による公的備蓄を行い、残り2日分県・市町村の流通備蓄での確保を進めていく。	● 自助による備蓄を補うために、本市では、県方針を踏まえて、最大クラスの被害(L2)を想定した1日分を原則として公的備蓄を行う。 ● 備蓄品目については、食料や飲料水といった生活必需品を中心に選定する。 ● L2津波浸水想定区域内の指定避難所であっても、一定の基準のもと、備蓄場所として選定する。(※L1域内の指定も有)

議題③ 武道館を含めた再整備

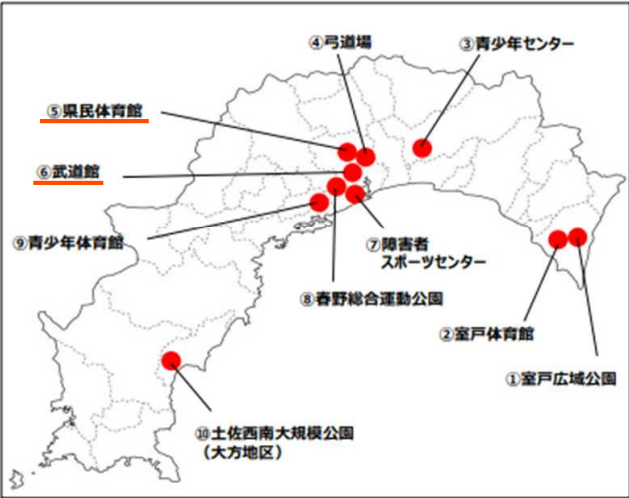
再整備の対象となる県立スポーツ施設の概要

- 新県民体育館の整備においては、既存のプールに加えて、老朽化している高知県立武道館を含めた再整備の検討を行います。

県立スポーツ施設の概要（既存施設の設置状況及び施設の概要）

NO.	施設名	設置年	主な機能等	観客席数(人)	駐車場台数(台)	空調設備	利用状況(R4:人)	修繕費(H30~R4:平均/年)(千円)
①	室戸広域公園	H13	野球場 屋内運動場	-	140	-	12,083	966
②	室戸体育館(※1)	H3	体育館	200	55	無	1,890	4,349
③	青少年センター	S42(※2)	体育館 陸上競技場	体育館 1,474	485	無	74,789	8,757
④	弓道場	H25	弓道場	100	16	-	24,847	1,402
⑤	県民体育館	S48	体育館 室内プール	1,572	82	有	150,632	34,412
⑥	武道館	S54	試合場 剣道場 柔道場	482	30	有	42,843	10,470
⑦	障害者スポーツセンター	H8(※3)	体育館 グラウンド 屋外プール	-	39	有	25,267	582
⑧	春野総合運動公園	S54	陸上競技場 室内プール ※他多数あり	体育館 1,830	1,389	有	382,258	186,424
⑨	青少年体育館	H3	体育館 野球場	1,500	32	無	58,212	3,498
⑩	土佐西南大規模公園	S63	体育館 球技場 ※他多数あり	体育館 956	860	無	88,159	22,290

(※1)室戸体育館は、R8年度に室戸市に移管予定
(※2)青少年センターは、体育館をH12に改修、陸上競技をR1に改修
(※3)障害者スポーツセンターは、体育館をH21に改修



＜設置時期＞

S	S	H	H	H	H	H	H
45	60	1	5	10	15	20	25
⑤県民体育館	②室戸体育館	①室戸広域公園					
⑥武道館	⑨青少年体育館						
⑧春野総合運動公園	⑦障害者スポーツセンター						
⑩土佐西南大規模公園							
③青少年センター(※H12体育館設置)	高知国体(H14)						④弓道場

再整備検討の進め方

- 再整備検討においては、武道館とプールを集約する組合せパターンを洗い出し、各集約化パターンについて新県民体育館の規模を検討します。
- 各集約化パターンを決定するために、評価指標を設定し、集約化効果による比較検討を行い、集約化パターンを決定します。

集約化する場合の特性・留意点

- 集約化すると機能が重複する床面積は削減できるため、県立の施設全体の維持管理費は、低減できる方向となります。
- 公共施設マネジメントの観点からは財政投資を削減できる可能性があります。新県民体育館単体の収支の観点からは財政投資が増える可能性があります。

床面積の増加分、維持管理費は増え、財政投資は収益が増えない分、増えてしまう



集約化しない場合の特性・留意点

- 公共施設マネジメントの観点からは県立の施設全体の維持管理費は、増加する方向となります。
- 新県民体育館単体では、余剰面積を収益性の高い機能を導入することで新県民体育館の収支が向上し、財政投資を減らすことができる可能性があります。

床面積の増加分、維持管理費は増えるが、財政投資は収益が増える分、削減できる可能性がある



集約化パターンの設定（建物の外形線を作成し、新県民体育館の規模※を確認する）

※主に建築面積

集約化パターンを比較検討をするための評価指標の設定

新県民体育館の基本計画として検討を進める集約化パターンの決定

集約化パターンの設定

- ・ 武道館を含めた集約化のパターンが考えられる組合せは、概ね 6 パターンが挙げられます。
- ・ これらのパターンについて、アウトライン検討（建物の外形線・日影規制等の関係法令の遵守を含む）を行います。
なお、プールについては、日常使いが主な用途となることから、現有地以外への設置や他の公立プールとの集約化も視野に入れて検討します。

集約化 パターン	県民体育館のみ	県民体育館＋ 武道機能(練習用)	県民体育館＋ 武道機能(試合用)	施設 規模	駐車 台数	余剰 面積
プール 機能なし	パターン① 	パターン② 	パターン③ 	小	多	広
プール 機能あり	パターン④ 	パターン⑤ 	パターン⑥ 	大	少	狭
施設規模	小					大
駐車台数	多					少
余剰面積	広					狭

集約化パターンを比較検討するための評価指標の設定

- ・ 集約化を検討するに際し、集約化の視点となる評価指標を下表のとおり整理しました。
- ・ これらの評価指標を基に集約化パターンを比較検討して、基本計画として検討を進める集約化パターンを決定します。

討議事項

- 整理した評価指標の過不足について、討議いただきたい。

視点	評価指標	評価の視点
まちづくりへの寄与	①観光振興	・ スポーツツーリズムやイベント興行の開催（県外からの誘客）による県内の観光振興に寄与できるか。
	②学校連携	・ 学校プールや部活動の受入れ先としての需要があるか。
施設収支	③収益化の余地	・ 安価な施設使用料となる県民利用以外の収益事業の余地を確保できるか（プールのスクール利用による会費収入、テナントスペースの貸出による賃料収入等）。
	④維持管理	・ 床面積換算で年間維持管理費がいくらになるか。
	⑤財政投資	・ 財政投資の増減は現状と比較して定性的にどうなるか。
施設機能	⑥防災対応	・ 一時避難所として、どれくらいの床面積を計上できるか。
	⑦アクセス利便性	・ 駐車場台数は何台確保できるか。
	⑧マルチ対応可能性	・ 運用上の工夫により、都度、必要な機能を設営できるか（マルチ利用が可能か）。
競技実態	⑨稼働率	・ 現状の稼働率は相対的に高い利用があるか。
	⑩競技人口	・ 現在の競技人口はどれくらいか。